

授業科目 教職実践演習(中・高)

【担当教員名】 森泉 哲也、埴 佐敏、遠山 孝司、吉田 重和、杉崎 弘周、足立 淳、 高田 大輔		対象学年	4	対象学科	スポ
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	○	○	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】 本講座は4年間の教員免許状取得のための講座の総まとめとして行われるものである。これまで、教職関係の科目や実技科目、そして教育実習等を通じ、教師となるための基礎的な力量を身に付けてきた。本講座では「教職実践演習ポートフォリオ」を振り返り、教師になるためにさらに必要な分野について実践的な演習を通して力量をつけることを目標とする。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 教師として必要となる使命感、責任感、規範意識を持つことができる。 2. 自らが教師としてこれまでも今後でも成長していくイメージを持ち、今後の成長のために必要なことが説明できる。 3. 教師として必要な資質を理論的事項を中心に把握し、自らが取り組む実践をイメージしながらこれを説明できる。 4. 学校の教育課程全体との関連において保健体育の教育課程を計画・実施・評価・改善し、適切な教育方法を選択するための手順が説明できる。 5. 様々な場面で生徒に教員として適切に対応できるようになる。 6. 学習指導要領にもとづいて保健の学習指導案を作成し、授業を行うことができる。 7. 体育の指導内容を系統的に整理し、指導方法を工夫した授業を行い、授業検討を行うことができる。					
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	民間人から見た学校—教員としてのマナーと規範意識を手がかりに—		1		
2	本学及び本学科の教員養成の理念と目指す教師像		1		
3	ポートフォリオの振り返り—教師としての弱みと強みを把握する—		1		
4	授業における教師の成長		1,2		
5	様々な教師の成長		1,2		
6	教師の資質（1）—生徒と対峙するための理論的基盤を中心に		1,3		
7	教師の資質（2）—生徒を指導するための実践的技法を中心に		1,3		
8	学校の教育課程と保健体育の教育課程		4		
9	保健体育の教育課程と教育方法		4		
10	教職共通領域（生徒指導、進路指導、特別活動）に関する演習		1,5		
11	教職共通領域（生徒指導、進路指導、特別活動）に関する演習		1,5		
12	保健の授業づくりと実践1		6		
13	保健の授業づくりと実践2		6		
14	指導の系統性を考慮した体育授業の展開と授業検討1		7		
15	指導の系統性を考慮した体育授業の展開と授業検討2		7		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		特に指定しない			
参考書		成長する教師	浅田匡（編）、生田孝至（編）、藤岡完治（編）	金子書房	1998・3,800円＋税
		教育改革選書No.2 教師力再興：優れた教師に満ち満ちた学校に	梶田毅一	明治図書	2010・1,860円＋税
		よい教師をすべての教室へ：専門職としての教師に必須の知識とその習得	L. ダーリング・ハモンド、J. パラッツ・スノーデン	新曜社	2009・1,600円＋税
その他の資料					
【評価方法】 ・授業課題（80%）総合課題（20%） ・教師として必要とされる基礎的な知識・技能・資質を修得したことを確認できた者に単位修得を認める。		【履修上の留意点】 ・「教職実践演習ポートフォリオ」が記入済みであること。 ・原則として教育実習を終えていること。 ・教員免許取得に向けた強い意志を有していること。 ・中学校または高等学校の保健教科書を各自で用意すること。			